

大震災・復興ニュース(第123報)

平成25年8月29日
仙台地方振興事務所水産漁港部

1 水産業復旧・復興に向けた対応状況(国及び県全体の動き)

宮城県内の水産物の放射性物質測定結果について

- 1 測定年月日 平成25年8月23日～8月27日
- 2 測定分析機関 宮城県,(一財)日本食品分析センター,いであ(株),(一財)日本冷凍食品検査協会,(公財)海洋生物環境研究所,東北緑化環境保全(株),(株)総合水研究所。
- 3 測定結果
・すべての検査品目について,基準値を下回り,安全性に問題のないことが確認されました。

水産物(採取日 平成25年8月19日～8月26日)

(単位:ベクレル/kg)

種別	漁獲場所	放射性セシウム	種別	漁獲場所	放射性セシウム
スズキ	鮫浦湾	11	ニベ	山元沖	不検出
ヒラメ	金華山～江の島沖	6.2	ニベ	亶理荒浜沖	9.3
ヒラメ	鮫浦湾	不検出	ヒラメ	仙台湾	16
ヒラメ	南三陸町歌津沖	3.0	ヒラメ	仙台湾	7.8
アカガイ	名取市関上沖	不検出	マガレイ	岩沼市二の倉沖	3.6
アカシタヒラメ	亶理荒浜沖	不検出	マコガレイ	仙台湾	不検出
イシガレイ	仙台湾	15	マコガレイ	亶理荒浜沖	4.0
ガザミ	仙台湾	不検出	マゴチ	山元沖	7.3
ガザミ	亶理荒浜沖	不検出	マゴチ	亶理荒浜沖	13
ガザミ	山元沖	不検出	アユ	迫川(栗原市)	21

2 管内の復興に向けた動き

ノリの陸上採苗始まる

・8月下旬に入り,各地の陸上採苗施設でノリの採苗作業が始まり,ノリ養殖が本格的にスタートしています。

陸上採苗は,ノリの糸状体が入った水槽に,ドラムに巻き付けたノリ網を回転させ,種苗を糸に付着させるももので,採苗したノリ網は,9月下旬の海上での張り込みまでの間冷凍保管されます。

この陸上採苗のほかに,従来から行われている海上で種苗を糸に付着させる野外採苗があり,9月下旬から始まる予定です。

採苗後のノリ網は,松島湾内で育苗された後,外洋漁場で本養殖が行われ11月上旬頃からノリの収穫が行われます。



浜市でのノリ陸上採苗作業

閉上漁港の復旧状況について

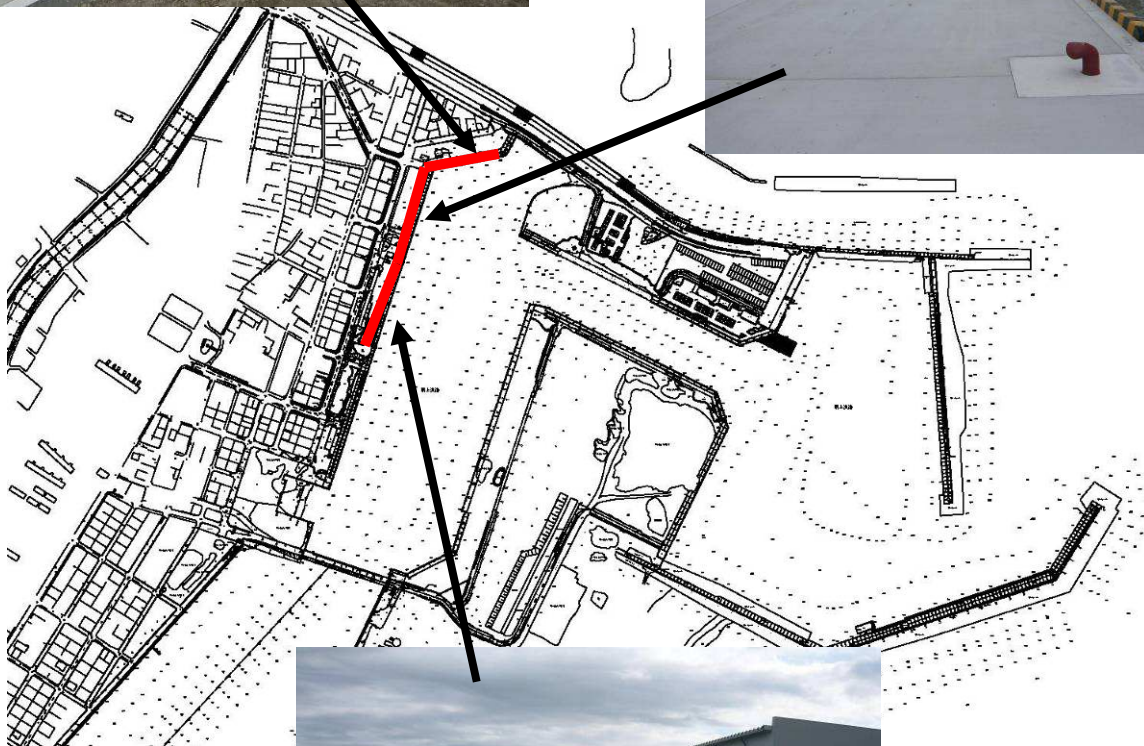
・名取市の閉上漁港は、東日本大震災の影響で施設の沈下や流出など大きな被害を受けました。このため、昨年度より本格復旧を進めて参りましたが、この度、下図施設(赤着色)が9月1日からの貝桁網漁業等の操業開始前に利用可能となりました。

・東日本大震災による被害の規模が大きく、引き続き各施設の復旧工事を行っておりますので、今後とも関係者の方々にはご不便をおかけしますが、協力をお願いします

閉上北-2.5m 物揚場 L = 94.4m



市場前-3.0m 岸壁(2) L = 129.6m



市場前-3.0m 棧橋 L = 120m



塩釜漁港（新浜地区）の岸壁利用についてのお願い

・塩釜漁港（新浜地区）については、東日本大震災により被災した漁港機能を回復するための工事を施工中です。このため、使用できる岸壁が限られていることから、魚市場等関係者の皆様と協議して漁船等が安心して入港できるよう、9月及び10月の利用可能な岸壁について、下図のとおりお知らせすることとしました。利用者の皆様には、しばらくの間ご不便をお掛けしますがご協力をお願いいたします。

また、11月以降の利用可能な岸壁については、10月末に再度お知らせします。

【お問い合わせ先：宮城県仙台地方振興事務所水産漁港部漁港管理班（TEL022-365-0191）】

